

第1回 首都圏産直キャンペーン  
首都圏情報発信イベント

おきたまの小さな可愛いかくれんぼ

平成28年6月19日（日）



主催

おきたま食の応援団（置賜農業振興協議会）  
おきたま食のモデル地域実行協議会

## 概 況

6月19日（日）、今年度第1回の首都圏 PR イベントを行って来ました。この事業は、置賜農業振興協議会とおきたま食のモデル地域実行協議会の連携事業として昨年度から行っているものです。食のモデル協議会とつながりのある「恵比寿新聞」さんの協力により、恵比寿マルシェに出店すると共に、同じく恵比寿の地において置賜地域の食文化や特産品を PR するおきたま食文化フォーラムを実施いたしました。「恵比寿新聞」は恵比寿周辺のグルメ、イベント、地域文化等の情報を積極的に発信しているコミュニティ新聞です。ところで、「恵比寿」ってどこからどこまでを呼ぶか、知っていますか？実は恵比寿には行政区画がないので、あいまいなのだそうです。「恵比寿駅周辺」といったイメージでしょうか？

さて、今回は「おきたまの小さな可愛いかくれんぼ」をテーマに旬のさくらんぼを中心に据え、「さくらんぼの日」当日である6月19日に実施することができました。今回の参加市町は、米沢市、南陽市、小国町の2市1町です。それぞれの自慢の農産物や特産品を並べ、積極的に PR してきました。

では、詳しくご報告してまいります。

### (1) マルシェ

### (首都圏産直キャンペーン)

恵比寿マルシェへの出店

日時：平成28年6月19日（日）

11:00~17:00

場所：恵比寿ガーデンプレイス「シャトー広場」  
東京都目黒区三田1-13-1

内容

6月19日（日）、今年度第1回の首都圏産直キャンペーンは、恵比寿マルシェで開催しました。恵比寿マルシェは、「食に対する意識の高い高感度層や「恵比寿周辺」の富裕層が多く利用するマルシェ」とされています。今回も、恵比寿新聞さんの協力によりマルシェの一角に「おきたま」として、ブースを構え、米沢市、南陽市、小国町の農産物や特産品をメインに販売・PRを行いました。

この日は天候に恵まれたため開催時間を通じて人通りが多く、いらっしゃるお客様は総じて食への意識が高く好意的な印象でした。米沢市、南陽市、小国町のそれぞれ所狭しと並んだ特色のある商品に、足を止めて興味深く見入っていただけました。置賜以外のブースも、全国津々浦々から集まった、特色のある品でいっぱいでしたので、おきたまブースも負けじと品良く PR しました。

当日は良く晴れ汗ばむ陽気でしたが、ビル風が強いため、テントが揺れ、パンフレットのような軽いものはもちろんのこと、他ブースの物が飛んできたり、人がぶつかって来たりするハプニングもありました。しかし、販売と PR は好調で、さくらんぼを始めとする





商品に、興味深そうに見入ったり、熱心に説明に聞き入ったりしていただける姿が多く見られました。

お客様に、おきたまの農産物や特産品の美味しさを直に味わっていただくため、商品の試食をおこないました。

試食品には、米沢市の特産品であるうこぎを使用した「うこぎふりかけ」と「うこぎ抹茶」、小国町の特産品である雑穀の一種のたかきびを使用した「たかきびうどん」に、南陽市で生産が盛んな「おかひじき」を添える等趣向を凝らして準備しました。「独特な味わいがあるうこぎが都会に住む人達の口に合うかどうか…」との心配をよそに、お客様は、うこぎふりかけを試食しては「うん、うん」と味の深みを味わい、うこぎ抹茶を飲み干しては初めての味に驚いていました。うこぎは日当たりを選ばず丈夫なため、江戸時代、米沢藩主上杉鷹山公が推奨し、垣根に利用し新芽を食べた、歴史があり、現在も受け継がれている米沢を代表する伝統野菜であること、挿し木で増やすことを、うこぎ苗をお見せしながら説明すると、お客様は質問も交えながら熱心に聞き入ってくださっていました。さらに、米沢市で準備した上杉鷹山公のパネルはお客様の目を引き付け、米沢市のPRに大きく貢献していました。



たかきびうどんのおかひじき添えは、南陽市と小国町の農産物・特産品をコラボした内



容で、淡いピンクのたかきびうどんと緑鮮やかなおかひじきの色合いがきれいで、お客様はとても興味を持たれ、試食後はセットで購入される方が多く見られました。「おかひじきのしゃきしゃきした食感が忘れられなくて…」と後日お問い合わせくださったお客様もいらっしゃったほどです。

おかひじきは、現在置賜地方の中でも特に南陽市で盛んに栽培されている伝統野菜です。旬はちょうどこの時期ですが、4月から11月と長く楽しむことができます。驚いたのは、九州から出店しているブースでもおかひじきを販売していたことです。

たかきびは食物繊維やミネラル・ビタミンが豊富な赤い雑穀です。たかきびの健康・美容効果と、おかひじきの栄養価の高さとクセのないシャキシャキした食感も、お客様の購入意欲に繋がったものと思われます。

季節はやはり梅雨です。夕方近くになり雨が降り出したため、少し早目にマルシェを終了しました。

### マルシェ販売商品



さくらんぼを始めとした置賜地域の旬の農産物と特産品を彩りよく整えて、お客様の目を引き付けるブース作りを行いました。

### マルシェ販売品目リスト

置賜管内	さくらんぼ（化粧箱）／@12,000円、（バラ箱）／5,000円、（200gフードパック）／1,000円、うこぎ（苗木）3,000円、さくらんぼサイダー／150円、うこぎ茶／150円
米沢市	うこぎふりかけ／250円、うこぎ抹茶／1,300円
南陽市	おかひじき／200円、山食ジュース／180円、龍上海ラーメン／1,080円
小国町	わらびの一本漬け／500円、たかきびうどん／400円、山菜混ぜご飯の素／500円

## (2) 食文化フォーラム

(情報発信イベント)

おきたま食文化フォーラムの開催

日時：平成28年6月19日（日）

18：00～20：00

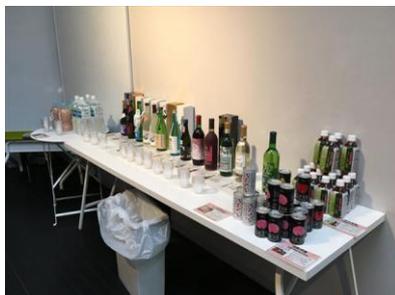
（※マルシェ終了後移動）

場所：クリエイティブスペース「amu（アム）」

東京都渋谷区恵比寿西1-17-2

内容

今年度第1回のおきたま食文化フォーラムは、恵比寿駅西口から繁華街を抜けた、閑静な通りの一角にあるクリエイティブスペース「amu（アム）」で行いました。恵比寿新聞さんの協力のもと、置賜地域の食文化や特産品、観光情報等、置賜オンリーの地域情報を発信する場となりました。



今回は、「おきたまの小さな可愛いかくれんぼ」をテーマに、12種類の置賜産さくらんぼの食べ比べを行いました。おきたま食文化フォーラムは首都圏へのおきたま地域の知名度向上と共に置賜産農産物の販売・商談まで視野に入れ、実需者や情報発信力の高い消費者を対象に行っております。今回は情報発信力の強化のため、デザイナーに協力いただき、さくらんぼのタワーを作成しました。参加者は会場に入ると、さくらんぼタワーに感嘆の声をあげ、フェイスブックにアップするため等、早速写真を撮っていました。

山形県の特産品として定着しているさくらんぼの説明に、それぞれのさくらんぼの品種特性と産地だからこそその情報を織り込み、魅力を発信しました。また、さくらんぼ以外の試食品も、テーマに沿って、ひとくちサイズで食べられる手軽さを意識した提供方法にしました。



フォーラムが始まると恵比寿新聞高橋編集長の軽妙なトークで進められ、特産品の説明、さくらんぼの試食、各市町 PR と進められました。

今回準備した12品種のさくらんぼのうち、参加者が食べたことがあるのは多くても3品種程度であり、地元でもなかなか食べられない品揃えに、皆さん目を輝かせていました。代表的な品種である佐藤錦以外のさくらんぼについては、1品種毎に担当者が説明してから参加者へ提供する演出を行いました。東京では目にすることが難しいさくらんぼに強く興味を示し、入手方法を尋ねる参加者が多くみられました。



今年置賜地域は、霜害により残念ながらさくらんぼが思うように実りませんでした、逆に大粒なものを用意できたと感じています。参加者の声を聞くと、印象に残ったさくらんぼは、紅秀峰、大将錦、山形美人、月山錦とそれぞれだったようです。

ひととおりさくらんぼの PR が終わり、お腹も膨れてきたところで、各市町の職員が登壇し、恵比寿新聞さんとのトーク形式により、自慢の特産品や観光情報など、市町の魅力について紹介しました。

## <各市町 PR>

### <米沢市>

トップバッターは米沢市です。マルシェと同じく上杉鷹山公のパネルを掲げて PR を行いました。米沢市は山形県の南の玄関口にあたり、伊達氏、上杉氏の城下町として栄えま



した。米沢牛はあまりにも有名ですが、今回のイチオシはうこぎです。もともと薬用として使われていたうこぎですが、茎にトゲを持つことから、当時の米沢藩主上杉鷹山がトゲで敵の侵入を防ぐ目的で生垣として植えることや、食用として利用することを奨励しました。現代までこのうこぎの垣根が守られており、伝統野菜にもなっている春から初夏にかけての旬の食材です。うこぎは独特の香りと苦みがありますが、栄養価が高く、ポリフェノールや食物繊維、カルシウム、ビタミンCなどを豊富に含んでおり、抗酸化作用や血糖値低下作用、コレステロール低下作用、腸内環境改善などの効果があることが分かってきており、注目の健康食材となっています。

## <南陽市>

続く南陽市は、明治時代、英国の旅行家イザベラ・バードが目にした風景を「東洋のアルカディア」と呼んだ美しいところです。開湯900年余の伝統ある赤湯温泉や宮内熊野大社（日本三熊野の一つ）など、すぐれた伝統と歴史があります。さくらんぼやぶどうの栽培がさかんで、ワイン製造が盛んです。イチオシのおかひじきは、伝統野菜としては、最も盛んに栽培され、普及しているものの一つです。カルシウム、カリウム、ビタミンA、鉄、マグネシウムなどのミネラル分や、カロテン、ビタミンCも豊富です。食べ方は、おひたしの辛し和えが一般的ですが、食感が良く癖がないので、サラダやてんぷらなどもお勧めです。マルシェで販売し好評だった「龍上海ラーメン」は、辛みそラーメン発祥の店のものです。南陽市には今年度、市職員以外の登録も含む「ラーメン課」が発足したほど、ラーメンは南陽市民が最も愛し、最も発信したい食べ物なのです。



## <小国町>

とりを飾る小国町は、山形県の西南端、新潟県との県境に位置し、東京23区がすっぽり入る面積を有します。全国有数の豪雪地帯で、真冬は中心部で約2m、山間部では約4mを超す積雪量です。広大な面積や厳しい気候により、山の資源が豊富です。キノコや山菜は、栽培物では及ばない味と風味があります。昨年イタリアのミラノ万博において、試食として提供した「たかきびうどん」のなめこ添えは、食にうるさいイタリア人にも大好評だったのです。今年開発した雑穀甘酒は、雑穀がスーパーフードとして人気が高まる中、

試食でも人気でした。



美容・健康や珍しくなかなか手に入らないものに関心の高い首都圏の参加者は、伝統野菜、山菜、雑穀などに心をわしづかみにされたようで、各市町がPRするたびに取り揃えた販売の品を買い求めていただけの状況でした。

お願いしたアンケートにも参加者の方は協力的で、多くの声をいただくことができ、今後に活かしていくことができそうです。さっそくSNSにアップする姿も見られました。

付け加えれば、参加者には小さな子ども達もいましたが、さくらんぼを始めとした美味しい試食品に、泣いたり走ったりする子もなく、終始ご機嫌でした。

食文化フォーラム試食リスト	
置賜管内	さくらんぼ（佐藤錦・絢のひとみ・さおり・紅夢鷹・紅きらり・紅秀峰・山形美人・紅ゆたか・月山錦・紅てまり・ナポレオン・大将錦）、玉こんにゃく、地酒、さくらんぼサイダー、うこぎ茶、山形代表、水
米沢市	上杉カルパス、時雨の松
南陽市	おかひじき、粗挽きサラミ、じんだんまんじゅう、NAMJO da BE、
小国町	たかきびうどん、蕨の一本漬け、へき地田楽、雑穀甘酒、

#### <参加状況>

- ・対象者 首都圏の実需者（シェフや料理人等）、ブログ・SNS等を扱う情報発信力の高い消費者、食に関心の高い消費者 等
- ・人数 35名（※集客は恵比寿新聞で実施）
- ・参加料 1人3,000円（税込）



# 食文化フォーラムアンケート(6/19)集計結果

## 参加者数

男	女	子(女)	計
9	21	5	35
25.7%	60.0%	14.3%	100.0%

## アンケート回収数

男	女	子(女)	計
8	17	1	26
30.8%	65.4%	3.8%	100.0%

## Q1 参加した印象はどうでしたか？

1 とてもよかった	2 よかった	3 どちらともいえない	4 あまりよくなかった	5 よくなかった	無回答	計
16	7	1	0	0	2	26
61.5%	26.9%	3.8%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%

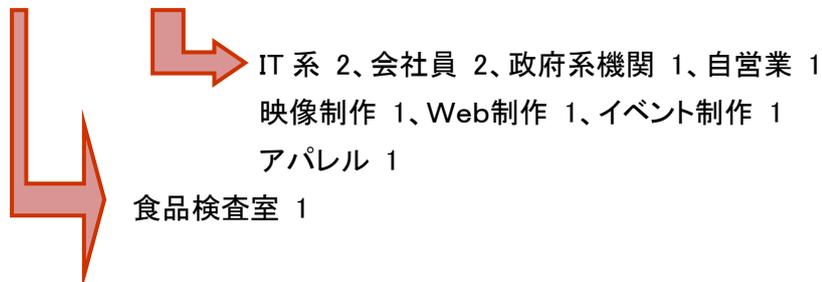
## Q2 印象に残った食材はありましたか(複数回答)

メイン食材	さくらんぼ(全般)	11
	さくらんぼ(紅秀峰)	3
	〃 (大将錦)	3
	〃 (山形美人)	2
	〃 (月山錦)	2
	さくらんぼ(さおり)	1
	おかひじき	5
	蕨の一本漬け	5
	玉こんにやく	3
地酒等	雑穀甘酒	2
	にごり酒?	1
	東光?	1
	純米吟醸 無濾過生詰薫梅峻	1
	龍龍龍龍(てつ)	1
	純米吟醸つや姫なんどでも	1
	うこぎ茶	1
スイーツ	じんだんまんじゅう	1
	NANJO da BE	1
	へきち田楽	1

### Q3 職業

1 飲食店関係	2 農や食の仕事	3 その他	計
2	2	22	26
7.7%	7.7%	84.6%	100.0%

具体的に



### Q3 住まい

東京都区内	19	73.1%
東京都内	4	15.4%
神奈川県横浜市	2	7.7%
無回答	1	3.8%
計	26	100.0%

### Q3 性別と年齢

	1 20歳未満	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代	5 50歳代	無回答	計
男		1	2	4		1	8
	0.0%	3.8%	7.7%	15.4%	0.0%	3.8%	30.8%
女	1	2	9	4	2		18
	3.8%	7.7%	34.6%	15.4%	7.7%	0.0%	69.2%
計	1	3	11	8	2	1	26
年齢割合	3.8%	11.5%	42.3%	30.8%	7.7%	3.8%	100.0%

### Q4 メールアドレスの記入

あり	有効なアドレス	9	34.6%
	無効なアドレス	3	11.5%
無記入		14	53.8%
計		26	100.0%

※3名については、記入されたアドレスに送信することができなかったもの。

### Q5 情報発信手段を持っている

1 はい	2 いいえ	無回答	計
21	4	1	26
80.8%	15.4%	3.8%	100.0%

→ 今回のイベントの情報発信をする

1 はい	2 いいえ	無回答	計
15	3	3	21
71.4%	14.3%	14.3%	100.0%

→ 情報発信手段は(複数回答)

1 フェイスブック	2 ツイッター	3 ブログ	4 その他	無回答	計
17	2	0	3	7	26
65.4%	7.7%	0.0%	11.5%	26.9%	100.0%

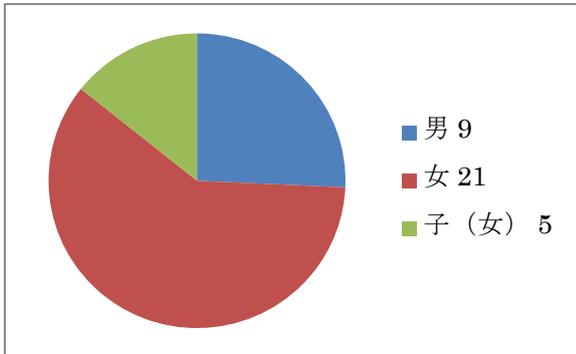
※記入者数 19 名

Q6 その他

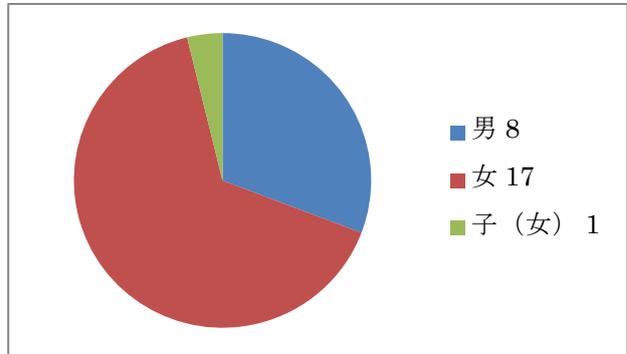
- ・さくらんぼがおいしかった(大きい、甘い、美しい)。
- ・さくらんぼがいろいろな種類があった(珍しい)。
- ・さくらんぼがお腹いっぱい食べられて幸せだった。
- ・スーパーフードが流行しているので、雑穀甘酒、たかきびを推す。
- ・甘酒がよかった。
- ・甘酒(もちきび、たかきび)について、成城石井系スーパーに置けば売れるのでは。
- ・甘酒がゆるすぎて残念。
- ・たかきびがよかった。
- ・勉強になった。
- ・山形大好き。情報がもっと欲しい。
- ・さっそくフェイスブックにアップした。
- ・美味しく楽しいイベントだった。
- ・お米も味見したかった。
- ・これからも食の発信を楽しみにしている。

# 食文化フォーラムアンケート(6/19)集計結果グラフ

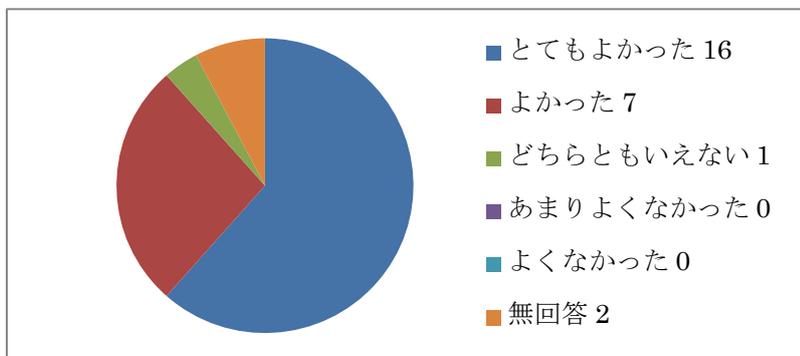
参加者数



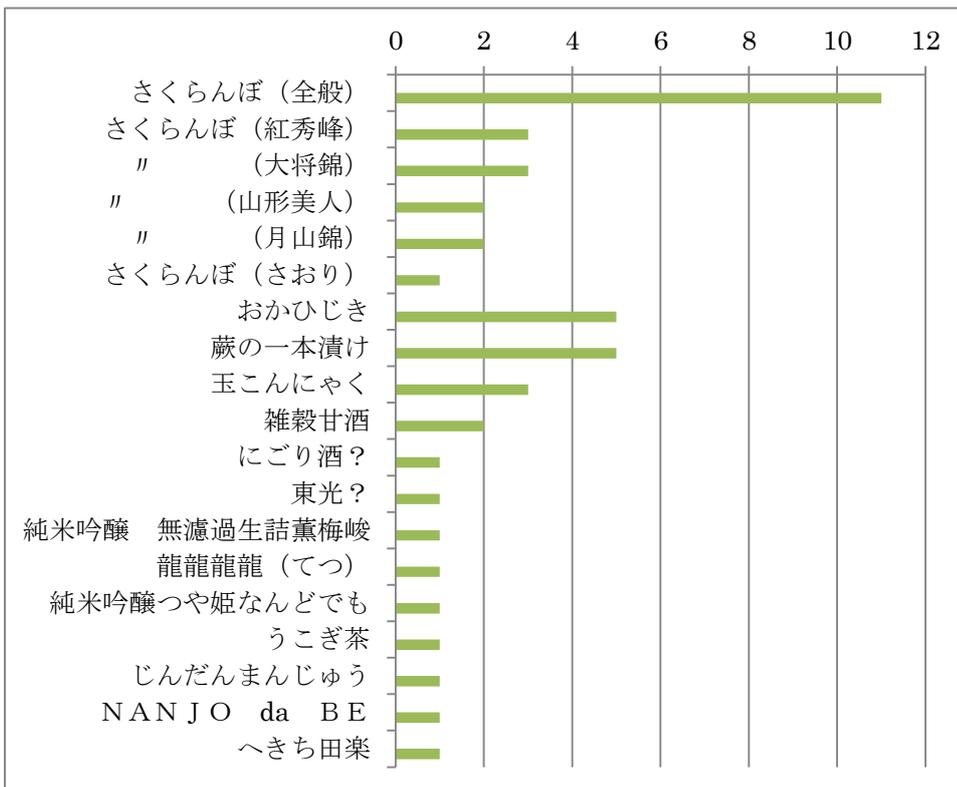
アンケート回収数



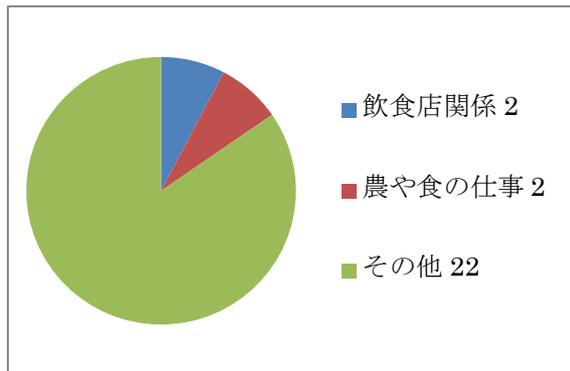
Q1 参加した印象はどうでしたか？



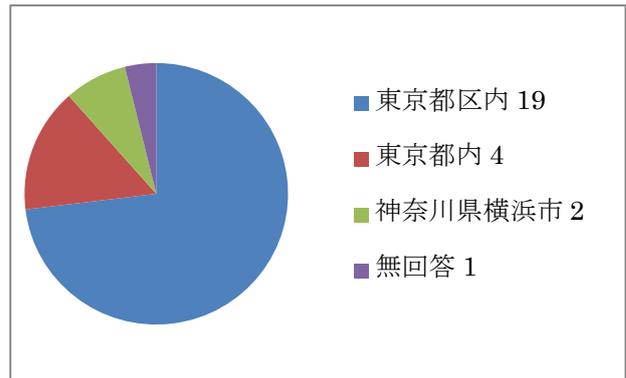
Q2 印象に残った食材はありましたか(複数回答)



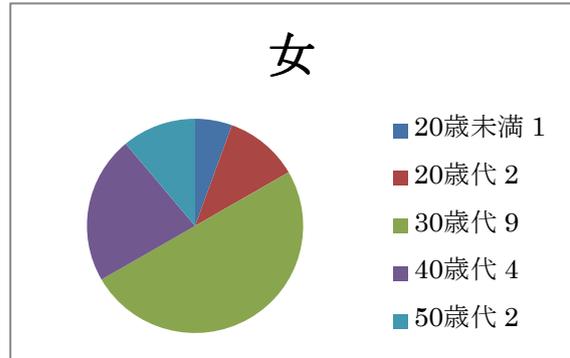
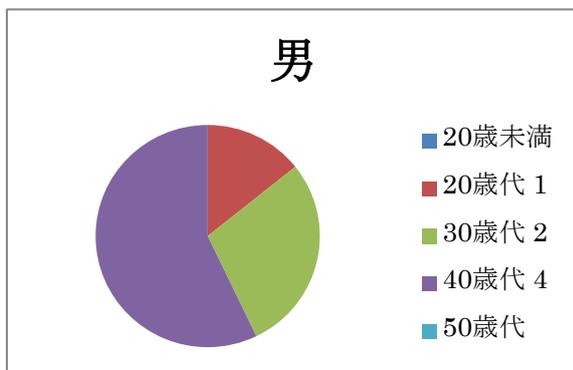
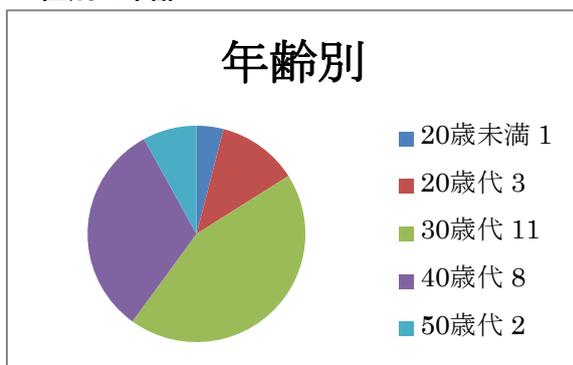
### Q3 職業



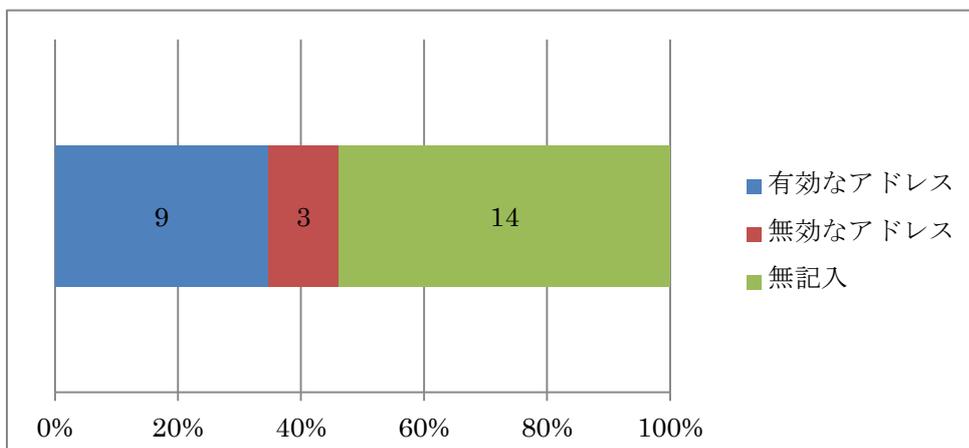
### Q3 住まい



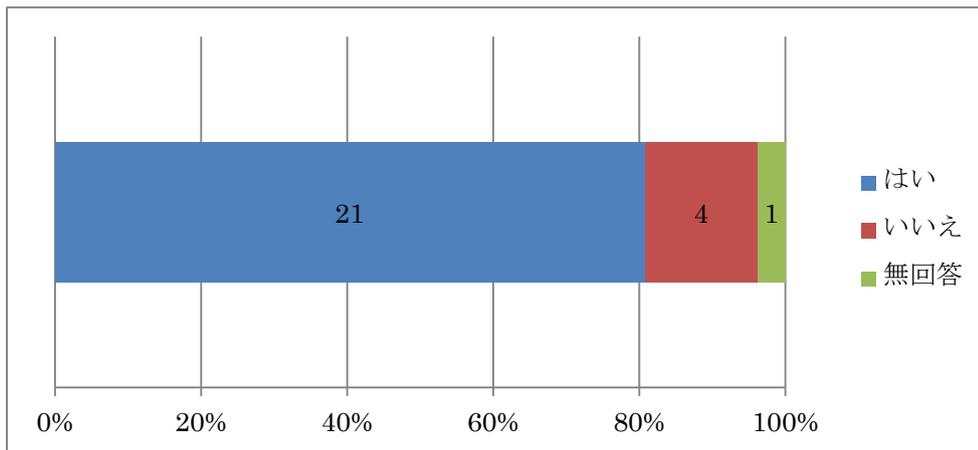
### Q3 性別と年齢



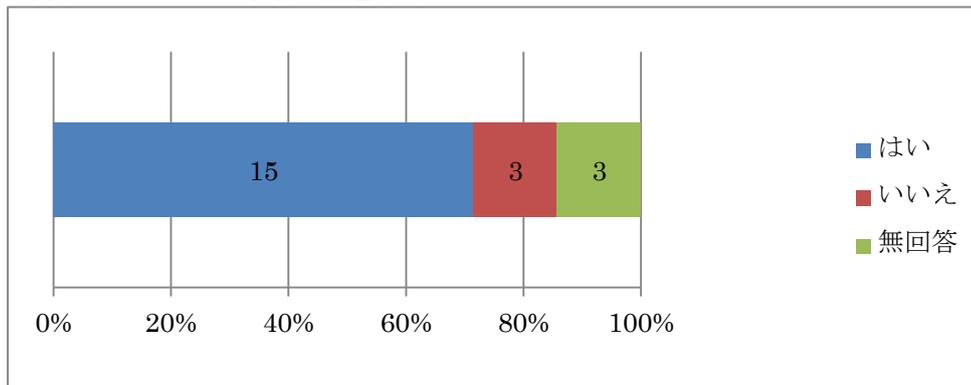
### Q4 メールアドレスの記入



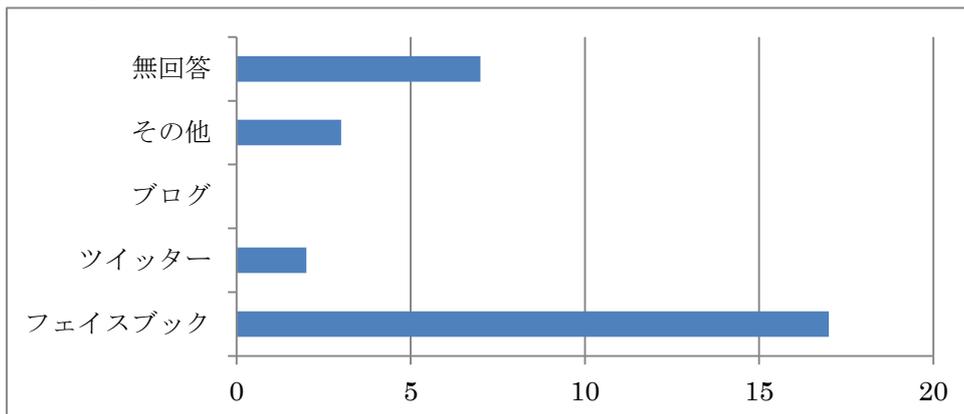
### Q5 情報発信手段を持っている



### 今回のイベントの情報発信をする



### 情報発信手段は(複数回答)



# 食文化フォーラムアンケート(6/19)集計結果分析

## 参加者数

大人のうち女性が7割を占める。

## 回収数

回収率74%

## Q1 参加した印象

「とても良かった」が61.5%を占める。

## Q2 印象に残った食材（複数回答）

さくらんぼが圧倒的に多いものの、おかひじきと蕨の一本漬けも5名ずつある。

## Q3 職業

飲食店関係2名、農や食に関する仕事2名（回答の範囲での把握に限る）

## Q3 住まい

東京都区内が73.1%を占める。

## Q3 性別と年齢

男性では40代、女性では30代の参加者が多い。

## Q4 メールアドレスの記入

記入が12名、無記入が14名。記入あったうち有効なアドレスは9名で、3名は記入誤りがあったと思われる。

## Q5 情報発信手段を持っている

「はい」が8割を超える。

→今回のイベントの情報発信をする

「はい」が71.4%を占める。

→情報発信手段は

フェイスブックが65.4%を占める（無回答をのぞいた回答者19名中89.5%）

## Q6 その他

メインであるさくらんぼに関する好意的な声が多かったが、次いで、雑穀（雑穀甘酒・たかきび）の好感度も高かった。雑穀甘酒について、成城石井系スーパーに置けば売れるのでは、といった具体的な意見も寄せられた。

参考／恵比寿マルシェ（マルシェ・ジャポン）について

マルシェ・ジャポンは 2009 年秋、農林水産省の支援により全国 8 都市で始まった都市住民参加型の市場（マルシェ）です。

農林水産省の助成終了後（2010 年 4 月～）は自主運営となり、株式会社エヌケービー内の NKB マルシェ事務局が東京・神奈川エリアを担当し、恵比寿マルシェ等の企画・運営を行い実施されています。

#### 発行元

##### ■置賜農業振興協議会

事務局 山形県置賜総合支庁

担 当：山形県置賜総合支庁産業経済部農業振興課

TEL / FAX 0238-26-6051 / 0238-21-6941

##### ■食のモデル地域実行協議会

事務局 JA 山形おきたま

担 当：JA 山形おきたま生産販売部ブランディング担当課

TEL / FAX 0238-57-4791 / 0238-57-2070